

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170582001004	科目番号 / Subject code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Subject	情報基礎(M(情4)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Class type	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部保健学科1年次(M(情4))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター棟 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日13:00 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	情報システムおよび各種ソフトウェアに関する知識・技能を身に付け、それを活用できるようになることを目的としている。また、情報システムやネットワークを利用する際に考慮すべき情報セキュリティや情報倫理についても十分な知識を身に付けさせる。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータ(ハードウェア, ソフトウェア)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ ネットワーク(インターネット等)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ 電子メール, ウェブブラウザを活用できる。</li> <li>・ 各種ソフトウェア(主としてオフィススイート)を活用できる。</li> <li>・ 情報セキュリティ, 情報倫理を考慮して情報システムやネットワークを利用できる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	授業は、講義と演習を組み合わせて行う。学生の自学力を向上させ、さらに学習効果を高めるため、複数の情報システムを活用しながらアクティブラーニングを取り入れた授業を行う。授業では、時間内外にレポートやテストを課し、必要に応じてeラーニングによる自学自習も取り入れる。授業は、各自が所有するノートパソコンを用いて実施するので、本授業では、ノートパソコンの持参を必須としている。		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイダンス</li> <li>・ コンピュータの基礎</li> <li>・ インターネットの基礎</li> <li>・ 情報セキュリティと情報倫理</li> <li>・ Webページの作成</li> <li>・ ノート術</li> <li>・ 文書作成</li> <li>・ 表計算</li> <li>・ プレゼンテーション</li> <li>・ 総合演習</li> </ul> 授業内容は学習効果、学習効率を考慮して変更する場合がある。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			

<p>教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book</p>	<p>本授業では、『日経パソコンEdu』というオンラインサービスを利用する。 『日経パソコンEdu』のライセンスの保有状況によって、購入すべき教科書が異なるので、十分に注意すること。</p> <p>(1) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有している場合 以下の場合が該当する。 ・長崎大学生協でパソコン(長崎大学仕様モデル)を購入時に、『Windows 10 &amp; Office 活用読本』を購入している場合 【購入する書籍】 書籍名:最新「情報」ハンドブック第2版 出版社:日経BP社 ISBN:978-4-8222-7972-1 価格:本体580円+税</p> <p>(2) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有していない場合 【購入する書籍】 書籍名:最新「情報」ハンドブック第2版(日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き) 出版社:日経BP社 ISBN:978-4-8222-7978-3 価格:本体2380円+税</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Evaluation</p>	<p>授業中課題及び小テスト:70% 期末課題またはテスト:30% を予定している。</p>
<p>受講要件(履修条件)/Requirements</p>	<p>Windows 10 および Microsoft Office 2016(Word, Excel, PowerPoint, Outlook, OneNote が含まれたもの) がインストールされたノートパソコンおよびACアダプタを毎回必ず持参すること。 授業では各自のノートパソコンを用いるので、持参しない場合は授業に参加できないので注意すること。</p> <p>Microsoft Office 2016 (Professional Plus相当) は本学が無償で提供しますので、購入は不要です。</p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考(URL)/Remarks(URL)</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	
<p>授業計画詳細/Course Schedule</p>	
<p>回(日時)/Time(date and time)</p>	<p>授業内容/Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>【ガイダンス1】 イントロダクション、無線LANへの接続、Office 365のセットアップ、電子メールの初期設定、Microsoft OneDrive の設定</p>
<p>第2回</p>	<p>【ガイダンス2】 LACSの利用方法、日経パソコンEduへの登録</p>
<p>第3回</p>	<p>【コンピュータの基礎】 コンピュータの仕組み、OSとアプリケーション、マルチメディア</p>
<p>第4回</p>	<p>【インターネットの基礎】 インターネットの仕組み、電子メールの仕組み、WWWの仕組み</p>
<p>第5回</p>	<p>【情報セキュリティと情報倫理】 情報セキュリティの基礎、情報社会の権利と法律、著作権</p>
<p>第6回</p>	<p>【Webページの作成】 HTMLの基礎、CSSの基礎、Webページの作成</p>
<p>第7回</p>	<p>【ノート術】 Microsoft OneNoteの基礎、OneNoteを用いたノート術</p>
<p>第8回</p>	<p>【文書作成1】 Microsoft Wordの基礎、Wordを用いた文書作成</p>
<p>第9回</p>	<p>【文書作成2】 Wordを用いたレポート作成(1)</p>
<p>第10回</p>	<p>【文書作成3】 Wordを用いたレポート作成(2)</p>
<p>第11回</p>	<p>【表計算1】 Microsoft Excelの基礎、Excelを用いた請求書の作成</p>
<p>第12回</p>	<p>【表計算2】 Excelを用いたグラフの作成</p>
<p>第13回</p>	<p>【表計算3】 Excelを用いた高度な集計</p>
<p>第14回</p>	<p>【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、PowerPointを用いたプレゼン資料の作成</p>
<p>第15回</p>	<p>【総合演習・まとめ】</p>
<p>第16回</p>	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587006502	科目番号 / Subject code	05870065
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11521_005		
授業科目名 / Subject	青壮年期における健康課題 (仕事と健康) / Work and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠葉 洋子 / Kusuba Youko, 松浦 江美 / Matsura Emi, 橋爪 可織 / Hashizume Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠葉 洋子 / Kusuba Youko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	楠葉 洋子 / Kusuba Youko, 松浦 江美 / Matsura Emi, 橋爪 可織 / Hashizume Kaori		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	選択 全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kusubay nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部保健学科2階 長崎市坂本1-7-1		
担当教員TEL / Tel	095-819-7936 (教員室直通)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後、随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。仕事の場や労働の中に潜む健康問題、仕事を継続する上での望ましい健康術について、長崎の人々が働いている職場などを取り入れながら学習する。		
授業到達目標 / Goal	1. 仕事の場や労働の中に潜む健康問題について述べるができる。 2. 仕事を継続する上での生活場面での健康問題について考えることができる。 3. 仕事を継続する上での自分自身の健康について考えることができる。 4. 仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、演習 (個人学習、グループ学習、血管年齢・骨密度測定、アルコール体質試験、ストレスチェック、ストレスマネジメントなど)、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。		
授業内容 / Class outline / Con	楠葉 (176回目、14、15回目)、松浦 (9?12回目)、橋爪 (7、8、10回目)、長岡 (13回目ゲストスピーカー) 第1回 授業ガイダンス、青壮年期の特徴、労働生活と健康 第2回 仕事を持ち働くことの意味を考える : グループ学習 第3回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題 (1) 作業環境 第4回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題 (2) 作業内容・方法 第5回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題 (3) 人間関係、産業疲労 第6回 長崎における産業と健康問題 (課題発表) 第7回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題 (1) 飲酒、喫煙 第8回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題 (2) 食事 第9回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題 (3) 感染症 第10回 自分の身体について考える : 演習 (血管年齢、骨密度、血圧測定、アルコール体質試験) 第11回 ストレスマネジメントの実際 (1) 演習 第12回 ストレスマネジメントの実際 (2) 演習 第13回 長崎の企業「ものづくり」における健康管理 第14回 サラリーマンの健康の実態と労働衛生 第15回 まとめ : サラリーマンの健康術について考える		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時間内に必要に応じて提示します。		
キーワード / Key word	仕事、青壮年期、労働環境、生活習慣病、ストレス、健康管理、労働衛生、長崎		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。評価方法の詳細は授業ガイダンスで説明する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	賃金が発生する仕事に就いた経験がない人が多いと思います。新聞やテレビ、インターネットなどで、仕事と健康に関係ある記事をチェックしたり、周囲で仕事をしている人たちの話を聞いたりすることが、授業の理解を深めるために有用です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/11 4校時)	第1回 授業ガイダンス、青壮年期的特徴、労働生活と健康(楠葉)
第2回 (4/11 5校時)	第2回 仕事を持ち働くことの意味を考える：グループ学習(楠葉)
第3回 (4/18 4校時)	第3回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題(1)作業環境(楠葉)
第4回 (4/18 5校時)	第4回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題(2)作業内容・方法(楠葉)
第5回 (4/25 4校時)	第5回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題(3)人間関係、産業疲労(楠葉)
第6回 (4/25 5校時)	第6回 長崎における産業と健康問題(課題発表)(楠葉)
第7回 (5/2 4校時)	第7回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題(1)飲酒、喫煙(橋爪)
第8回 (5/2 5校時)	第8回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題(2)食事(橋爪)
第9回 (5/9 4校時)	第9回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題(3)感染症(松浦)
第10回 (5/9 5校時)	第10回 自分の身体について考える：演習(血管年齢、骨密度、血圧測定、アルコール体質試験)(橋爪、松浦)
第11回 (5/16 4校時)	第11回 ストレスマネジメントの実際(1)演習(松浦)
第12回 (5/16 5校時)	第12回 ストレスマネジメントの実際(2)演習(松浦)
第13回 (5/23 4校時)	第13回 長崎の企業「ものづくり」における健康管理(長岡)
第14回 (5/23 5校時)	第14回 サラリーマンの健康の実態と労働衛生(楠葉)
第15回 (5/30 4校時)	第15回 まとめ：サラリーマンの健康術について考える。(楠葉)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587008501	科目番号 / Subject code	05870085
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11921_005		
授業科目名 / Subject	病気と薬を考える (薬との賢い付き合い方) / How to Wisely Get Along with Medicines		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬 天 / Hiroataka Miyamoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Hiroataka Miyamoto		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	特になし		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koyo-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	歯学部7階 薬剤学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2566		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 14:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	薬の消費者として薬と賢く付き合うためには、薬に関する理解を深めることが必要である。本講義 では、薬が効くしくみと薬の体内における動き (体内動態) の基礎を理解し、代表的な疾患に対す る薬物治療と薬の影の部分 (副作用など) について学ぶことをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	薬に関する正しい知識を理解し、説明できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書や参考書の内容に沿って講義する。通常は、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で 授業を進めるが、ビデオ等も用いて理解を深める。		
授業内容 / Class outline / Con	薬が効くしくみや薬の体内での動きの基礎を理解し、また、薬の影の部分 (副作用) を知る事は、 一消費者としても、薬と賢くつきあうためばかりではなく、生体の機能を知り、生命現象の理解を 深める事にもつながる。ここでは、精神に作用する薬も含め、幾つかの薬を例に取り、演習等も交 えて、薬との賢く付き合うための生命科学を学ぶ。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	特になし。		
キーワード / Key word	薬の効果、薬の動き、副作用、生体の機能、病気、生活習慣病薬、麻薬、向精神薬		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: くすりの作用と効くしくみ事典 (永岡書店) 参考書: 図解雑学 薬のしくみ (ナツメ社)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	考査 (30%)、レポート (30%)、授業に対する積極的な取り組み状況 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html">http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	教科書や参考書を熟読すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	からだのしくみ: マクロからミクロへ		
第3回	薬が効くしくみ: 酵素と受容体、作用薬と拮抗薬		
第4回	薬物の消化管からの吸収: 消化管の機能、膜透過		
第5回	薬物の消化管以外からの吸収: クスリの投与部位、各種機能性製剤		
第6回	薬物の体内分布: 血液循環、血液成分、タンパク結合		
第7回	薬物代謝: 肝臓の機能、酵素反応、アルコールの代謝		
第8回	薬物の排泄: 腎臓の機能、尿・胆汁の生成、半減期		
第9回	薬の宅配便: 製剤学・DDS (Drug Delivery System, 薬物送達システム) 入門		

第10回	病と薬（1）：感染症と免疫システム
第11回	病と薬（2）：生活習慣病
第12回	病と薬（3）：癌と疼痛コントロール
第13回	病と薬（4）：こころの病
第14回	薬の影：副作用、薬物相互作用、薬害
第15回	薬との賢い付き合い方：総論・薬物治療の未来像
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587038501	科目番号 / Subject code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (環境と社会) / Environment and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 内野 成美 / Utino Narumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-fuji nagasaki-u.ac.jp, izumi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部技術美術教棟111室、教育学部棟231室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2360, 2406		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	地球環境問題やエネルギー問題など現代社会が抱える問題について、「共生社会」の構築という視点で個人の有り様を問い直す講義です。なぜ「人間の多様性」を認め合う必要があるのか、どのようにそれを考えていけばいいのか、その視点が自らにあるか、個人の価値観のみならず、社会的な意志決定の方法や課題を認識することで、追求します。		
授業到達目標/Goal	多様な価値観の存在を認識し、互いを認め合う視点や共生社会の実現のあり方について考察し、それらの実現にたいする自らの態度や関心について省察できる。また、環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。また個人ワークと班ワークでの活動があります。そして適宜出される課題や自ら設定した課題を行ってもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	第1回はオリエンテーション、第2回から第7回は、主に社会の中における人間の多様性について扱い、社会環境を協働して構築していく際の視点を養うことを目的とする。第8回から第14回は、持続可能な社会構築に向けた環境・エネルギー問題に対する個人・社会的取り組みと、解決方法としての参加型合意形成を体験的に学習する。第15回は課題に関する発表と討論を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。各自の光熱水量データなど自宅や事業者に関心があるものも合わせて集めるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。		
キーワード/Key word	共生社会、多様性、インクルーシブ教育、自己理解・他者理解、ユニバーサルデザイン、バリアフリー、環境問題 (地球温暖化、廃棄物問題、水問題など)、エネルギー問題 (電源選択、高レベル放射性廃棄物処理など)、ガバナンス、価値観、意志決定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 遠藤まめた『先生のためのLGBTガイドブック』(合同出版、2016)、宮島喬『外国人の子どもの教育: 就学の現状と教育を受ける権利』(東京大学出版会、2014)、阿部彩『子どもの貧困? 日本の不公平を考える』(岩波新書、2008)、青山新吾他『インクルーシブ教育ってどんな教育?』(学事出版、2016)、内閣府『障害者白書』他 参考書: 環境白書、エネルギー白書、刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各課題の評価 (50%) 最終レポート・発表 (30%) 講義におけるディスカッション等での貢献度 (20%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	環境問題やエネルギー問題に強い関心を持つ学生で、積極的に議論に参加できること。(グループ・全体での討論が多いことを事前に認識しておいて下さい)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	オリエンテーション(目的、学習方法、ルールなど)、アイスブレイキング(グループ決め、認知確認など) 担当: 石川・藤本		

2回目	外国にルーツをもつ子どもたちと教育・社会 担当：石川
3回目	セクシャル・マイノリティーと教育・社会 担当：石川
4回目	子どもの貧困と教育・社会 担当：石川
5回目	特別ニーズと教育・社会? (障害と自分の関係、特別ニーズとは何か) 担当：石川
6回目	特別ニーズと教育・社会? (共生社会と相互理解) 担当：石川
7回目	多様性を認めあう社会の実現に向けて 担当：石川
8回目	環境問題と私たちの暮らし (グループ課題決定) 担当：藤本
9回目	持続可能な社会を目指して!?(エコロジカル・フットプリントから考える) 担当：藤本
10回目	持続可能な社会を目指して!?(解決手段の検討) 担当：藤本
11回目	地球温暖化とエネルギー問題 担当：藤本
12回目	私たちの暮らしを支える電気 担当：藤本
13回目	電気のごみを考える?(高レベル放射性廃棄物など) 担当：藤本
14回目	電気のごみを考える?(高レベル放射性廃棄物の処分方法・処分地選定の合意形成) 担当：藤本
15回目	課題発表と総合討論 担当：石川・藤本

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588010001	科目番号 / Subject code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11411_001		
授業科目名 / Subject	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、地域の特性などについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンベ 歴史 文化 産業 世界遺産 外交 原爆被害 軍事基地		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	原則として全回出席し、レポートを提出することを単位認定の要件とします。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)	平成28年度から開講される必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。		
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況(高橋)		
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾(相川)		
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化(相川)		
第4回	3) ポンベ・ファン・メルデルフォールトの医学伝習(相川)		

第5回	1) 長崎ことはじめ, 長崎が誇る世界遺産 1 (高橋)
第6回	2) 長崎が誇る世界遺産 2, 長崎の歴史を築いた人々 (高橋)
第7回	1) 長崎とお茶 ?古から現代まで? (太田)
第8回	1) 長崎原爆被害の実相 (冨塚)
第9回	2) 米戦略と長崎県の軍事基地 (冨塚)
第10回	1) シーボルトが使ったくすり?19世紀長崎での薬の輸入と革新 (田中)
第11回	3) 壱岐の島?一支國から始まるロマンと苦難の歴史 (高橋)
第12回	4) 長崎の歴史散策紹介(1) (高橋)
第13回	5) 長崎の歴史散策紹介(2) (高橋)
第14回	6) 長崎文学の旅, 長崎事件簿 (高橋)
第15回	7) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ (高橋)
第16回	